

地域福祉委員会活動をすすめてみましょう

～今“地域のつながり”があらためて注目されています～

国民生活白書や内閣府の統計調査によると「近所（生活圏）で協力し合う人数」の問いに対し、0人と回答した人が半数以上と多く、人とのつながりが薄くなっていることがわかりました。さらに、地域社会から孤立してしまう人が増加傾向にあるとも言われています。今後は、超高齢・少子社会となることから、より一層、近所で支え合ったり、助け合ったり、協力し合うことが重要になります。

地域を取り巻く環境が変化しています。

近所に気になる人はいませんか？

高齢の夫を
高齢の妻が介護

夫は要介護で寝たきりとなり、介護を続けている妻も介護疲れのため、つらそう…

日中一人暮らしの
高齢者

「あの家は同居だから大丈夫」といわれている家庭でも息子夫婦は勤めで、日中は一人で淋しそう…

ポツーン

育児で困っている
お母さん

夫は勤めに出ており、妻は相談相手もおらず、初めての子育てに悩んだり、困っている様子…

地域福祉委員会では、1人ひとりの住民が抱える生活上の困りごとを、町内全体の問題と捉え、みんなで解決方法を考えます。

① 気づく

日頃の見守りの中で、心配な方、気になる方などの変化に気づき、地域福祉委員会のメンバーでその情報を共有します。



② 話し合う

①で共有した課題に対して、地域でどんなことが出来るかを話し合います。



③ 解決に向けて

それぞれの地域の状況に応じて、実行部隊が活動したり、行政や専門機関につないだりします。
★社会福祉協議会も共に考えます。

私たち住民ができること
(地域での支え合い活動の例)

買い物

何らかの事情で買い物に行くことが難しい人は、たくさんいます。自分が買い物に行くついでに買い物の手助けができます。



話し相手

ちょっとした会話ができたり、悩みごとを相談できる相手が身近にすることで、孤独感が解消されます。



声かけ・気配り

あいさつや声かけなど、ちょっとした気配りをしてみましょう。



地域福祉委員会への活動支援については、裏面をご覧ください。

能美市社会福祉協議会は、地域福祉委員会の活動が充実するよう人材育成と活動の支援に取り組んでいます！

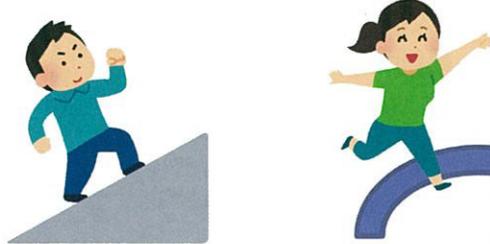


地域福祉推進のマスコットの
のみんちゃん

地域福祉委員会活動ヒント探し講座の開催

地域福祉についての基礎知識を学ぶ【入門編】から、自分たちの町を振り返り、課題を見つけ解決を考える【実践編】、さらに具体的な生活支援の助け合い活動を進める【活動推進会議】と、段階的に学べるメニューで地域福祉委員会活動ヒント探し講座を開催しています。

【入門編】から段階的に
学んでいきます



ホップ♪・ステップ♪
ジャンプ♪♪



入門編

地域福祉への理解と地域福祉委員会の意義を学ぶ

実践編

住民流支え合いマップづくりの手法を基に、地域の課題把握と解決に向けた活動を考える



活動推進会議

町の福祉課題の解決について、情報交換し、生活支援を考える



(例) A町地域福祉委員会では【入門編】を受講したあと、【実践編】を受講し、住民流マップづくりの作成をとおして、町の課題を見つけました。

- ①日中は畑仕事をしている高齢者のみの世帯が多い。畑仕事などすることがない人は日中一人であることが多い。
 - ②老人クラブ、壮年団、婦人会など各団体の活動は活発だが、団体同士のつながりは乏しい。
 - ③新興住宅地ができたがまだ交流が少なく、互いに面識がない人が多い。
- の課題3点に対して、次の取り組みを考えました。

- ・気軽に助け合うことができる地域にすることが重要であると考え、町民から有志を集め、町内の一人暮らし高齢者等への安否確認をするボランティアグループを結成した。
- ・公民館を週1回開放して、誰でも気軽に参加でき、話し合える機会を作った。
- ・既にある町会行事（運動会や避難訓練など）に誰もが参加できるよう様々な配慮を考え、町ぐるみで支え合う機運を盛り上げた。

地域福祉委員会を開催する際は、職員も参加させていただきますので、お気軽にお声かけ、ご相談ください。

社会福祉法人能美市社会福祉協議会 電話：(0761) 58-6200

住所：能美市寺井町た8番地1（能美市ふれあいプラザ内）